

# 特集！三中の道徳

三中は、平成28年度から4年間、校内研究のテーマを「道徳教育の充実」とし、研究授業や講師を招いての研修を通して研究を深めてきました。2年前には、都の「道徳教育推進拠点校」として研究発表会も行いました。下は、そのときに作成したリーフレットのの一部です。4年間の積み重ねが、今の三中の道徳実践の礎となっています。

## 実践報告Ⅱ 対象：第2学年

**主題名** 社会のルールを守る心 (内容項目：C 遵法精神、公德心)  
**教材名** 井上礼子「イエローカード」(日刊企画『中学生の新しい道Ⅰ』)

**本時のねらい** 社会におけるルールやマナーの意義について理解し、それらを主体的に守る態度を養う。



第一案	
導入	●家庭で決めているルールはありますか。
展開	1 純はどんなルール違反に出会ってどんな気持ちになったか。
	2 ルール違反(駐輪禁止を破る)をした時の純の気持ちは。
	3 サッカーのルールと違って社会のルールが守られないのはなぜか。
	4 (救助の妨げになっている自転車の移動に協力した人々へ) 救急隊「みなさんご協力ありがとうございました。」この時の純の気持ちは？(個人→班での話し合い)
終末	●本時の感想をワークシートに書く。

### 講師のコメント

「社会のルール」にはどんなものがあるか。それらは守られているだろうか。」で、生徒の認識を音で確認するのはどうでしょう。

この発問で、ルール違反をした時の純の安易な気持ちが出てくるはず。純の気付きに共感させたいですね。

純の言う「今の世の中で忘れてきている大切なもの」とは何だと思えるか。これを紐で追究させたら、多様な意見が出てきそうですね。面白そうです。

ルールを守るのは簡単そうで難しいというような話や、電車内での心温まるエピソードなど、どうでしょうか？  
公德心に関する先生の思いを提供してやったらいいのでは？

再考案	
導入	●東京メトロのポスター(マナー違反の絵+「家でやろう」のコピー)を掲示し「社会のルール」について考える。
展開	1 ルール違反に出会ったときの純の気持ち。
	2 救急隊の「～」の時の純の気持ち。 ・補助的に純が「無性に助がしくなった」のはなぜか。
	3 純の言う「今の世の中で忘れてきている大切なもの」とは何だと思えるか。
終末	●導入とは別の東京メトロのポスター(マナーを守る行為の絵+「またやろう」のコピー)を示しながら話す。

### グループの意見

- ルールを守って人と人の助け合いを大切にすること。
- 思いやりの心、ルールの大切さ。
- 当たり前前を当たり前前にやること。

●学習を通して考えたことを書く。

### 講師のコメントに学ぶ授業改善のポイント

- 導入から終末まで、主題に沿った指導・発問を徹底して貫く。生徒の思考が主題からそれないようにする。
- 展開前段で主人公の気持ちに共感させること、教材内での主人公の気付きを生徒に追体験させる。
- 中心発問には、多様な意見が出てきて班や学級全体で話し合う意義のある問いを設定する。
- 中心発問の成否は、それまでの発問の積み重ねにかかっている。

### 研究協議での講師からのアドバイス

- 主体性(生徒が自分事として考える)、多様性(多様な意見が出てくる)、協働性(コミュニケーション・コラボレーション・イノベーション)がある授業を目指したい。
- 何を考えさせて、何に気付かせたいのか。指導方針(指導観)を明確化し、導入から終末まで一貫性をもちたせること。そして、各活動(発問)のねらいを明確化し、生徒の発言を拾い、整理していく。
- 分かりやすい学習、つまり、単純化して深める学習にする。

道徳の教科書。指導計画に沿って、「自主、自律、自由と責任」「友情、信頼」など22の内容を、年間で35時間以上行います。



この写真のように、小グループを作り、ホワイトボードを活用して話し合い活動をする展開の授業をよくおこなってきました。

8/35 道徳教科書 P92~195

教材名 ショートパンツ初体験 in アメリカ

●目標● (テーマ) 個性を表現し、受け入れること。

心の壁をつくらない

●最初の自分の考え●

Q1. 個性を受け入れるとは？表現するとは？

↳個性を受け入れるとは、人によって違った外見や考え方を

理解し合うことだと思う。個性を表現するとは、自分のやりたいように

●印象に残った友だちの考え● 自由に生活することだと思う。

個性を表現することは、かわったり緊張したりする

けれど、それに負けないようにするべきだと思う

みんな違ってみんないい

●授業後の自分の考え● 今日の授業でわかったことや最初の考えから変わった部分なども書こう！

Q3. 「心の壁」をつくらないためにできることは？

↳周りの目と気にせずに、自分がいいと思ったことを

信じて突き進んでいくことだと思う

ふり返り (4よくできた 3できた 2あまりできなかった 1できなかった)

A 積極的に授業に取り組めた? (3)

B 友だちの意見を聞いて、考えを深められた? (3)

C 自分と関連させて考えられた? (4)

昨年度から、「道徳ポートフォリオ」という教材を使っています。一時間の授業を通じて生徒が印象に残ったことや考えたことを率直に記録として残すものです。蓄積された自己評価の記録は、本人の成長の振り返りに役立つものとなります。

道徳の教科化に伴い、「自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深めているか」を記述で評価します。学年末に通知表に記載されます。

昨年度の例：○大変熱心で、よく発言・発表し、様々な考え方ができていました。特に、「『いじり』? 『いじめ』?」の授業で、相手の考えを理解し、相手を尊重することの大切さを自覚していました。○積極的に様々な問題に関心を持ち、発言・発表もできていました。特に「裏庭のできごと」の授業で、自主的に判断し責任をもって行動する大切さを理解していました。

## 最近の授業の様子 1月18日(月)三中日記より



毎週月曜日の1時間目は、道徳の授業です。三中では、一人の授業者が全てのクラスで同じ授業をする「ローテーション授業」をどの学年もおこなっています。クラスによって、反応が積極的なクラスと、なかなか意見が出ないクラスがあるようです。

今日は、1年生の授業を参観しました。

内容は、次のとおりです。

- 1組 自然愛護
- 2組 自主、自律、自由と責任
- 3組 自由と責任
- 4組 集団生活の充実
- 5組 我が国の伝統と文化の尊重

通常は、小グループで意見を交換したり、班としての意見をまとめたりするのですが、コロナ対策でそれができません。授業者と生徒がやりとりをし、出てきた意見をもとに全体で考えるというパターンが多くなります。

視聴覚教材などを使って、生徒ができるだけ興味・関心をもてるように工夫しています。